

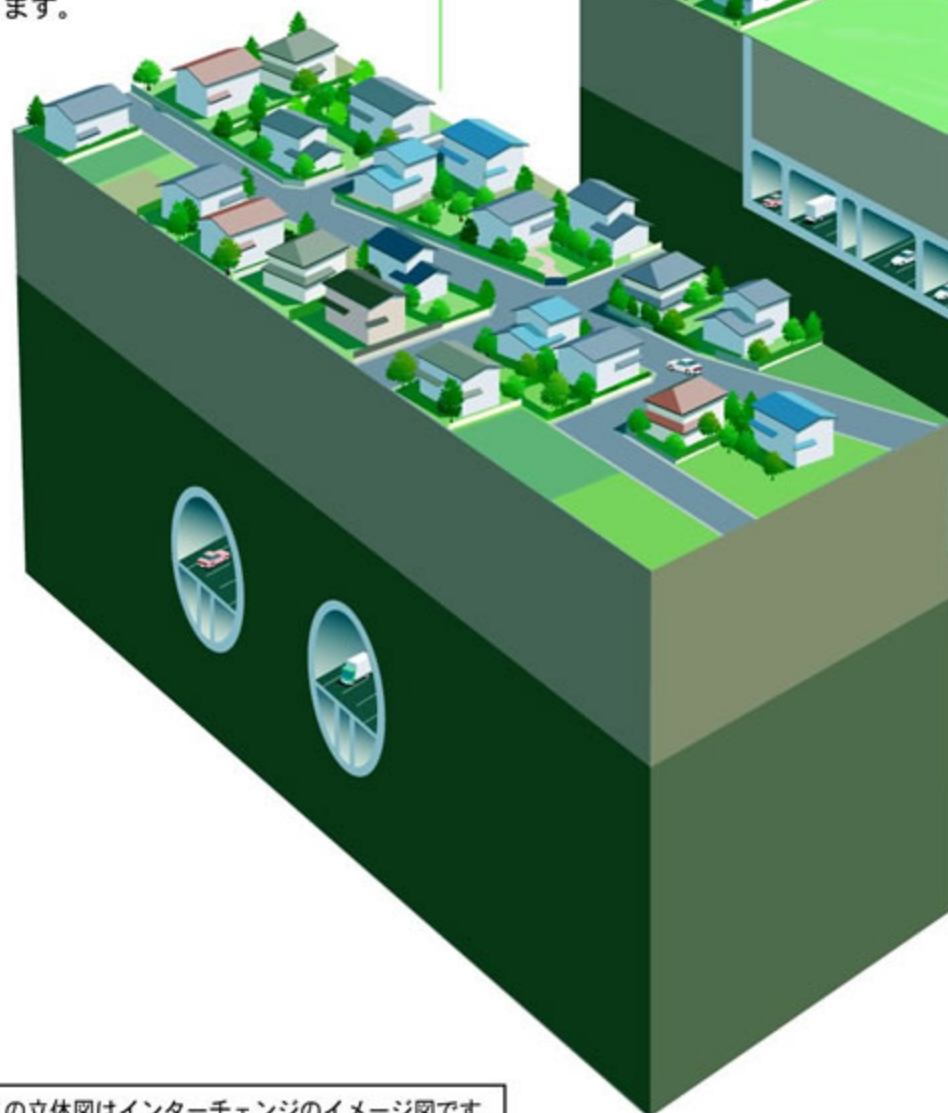
ジャンクションやインターチェンジ付近における生活への影響

地域のみなさんの生活への影響を極力抑えることができるよう
シールド工法の地下方式で検討していますが、

**ジャンクションやインターチェンジ付近では
地域分断、建物の移転、交通の集中による
影響などが生じる可能性があります。**

シールド工法は

シールド工法区間では、地上の生活
への影響はほとんどないと考えてお
ります。



※この立体図はインターチェンジのイメージ図です。

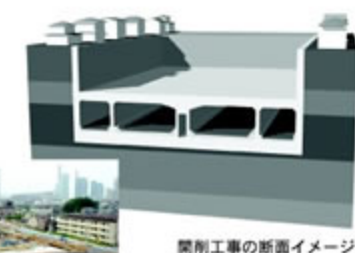
交通集中

インターチェンジ周辺では交通が集中

インターチェンジ周辺の道路では、交通
が集中するために、周辺の皆さんの生活
に影響が生じる可能性があります。

開削工法は

開削工事は、地表から掘り下げるので、
移転や地域分断が生じる可能性があり
ます。



開削工事の断面イメージ

開削工事（首都高/埼玉新都心線）

移転と地域分断

地域分断が発生

連絡路が半地下、地表となる区間では、
地域分断が懸念されます。

移転が必要

開削区間は、地表から掘り下げるため、
移転が必要となります。

地域分断への影響

東京外かく環状道路 (埼玉区間における対策事例)

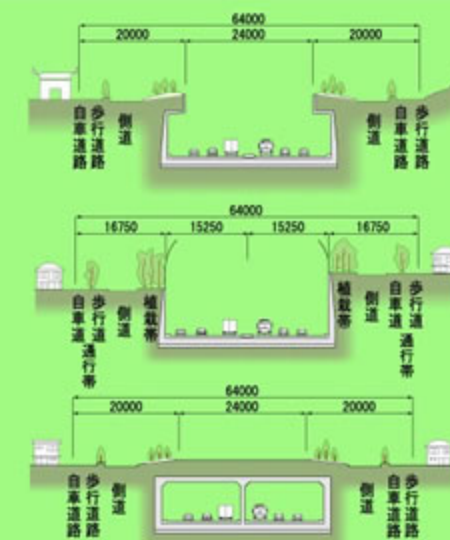
東京外かく環状道路の
埼玉区間では、開削部
の上空に横断橋を設置
したり、埋め戻したり
することで、地域分断
による影響を極力小さく
する工夫をしています。



位置図

写真①

写真②



写真①：横断橋の事例（埼玉和光市南2丁目）

写真②：埋め戻し部の事例（埼玉和光市南1丁目）